

今後発展が予測される業界や分野について

国内外において市場の拡大が期待される産業分野について、国・都・業界紙によると、以下のような業界や分野があげられている。

出 所	業界 や 分野
日本経済再生本部 未来投資会議 成長戦略 重点5分野	健康寿命の延伸 移動革命の実現 サプライチェーンの次世代化 快適なインフラ・まちづくり フィンテック ※「ICTを駆使した革新的、あるいは破壊的な金融商品・サービスの潮流」
東京都 次世代イノベーション	健康・スポーツ分野 医療・福祉分野 環境・エネルギー分野 危機管理分野
業界動向	(急成長している業界) インターネット業界・ネット広告業界・モバイル業界 駐車場業界・医療機器業界 ドラッグストア業界・スポーツ用品店業界 介護業界 (今後成長が期待される業界) 半導体業界 自動車業界 航空業界 ホテル業界

健康・医療・福祉分野／観光分野／交通分野
上記の分野におけるIT化・OA化も一層の需要

(出典) 日本経済再生本部 <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/index.html>

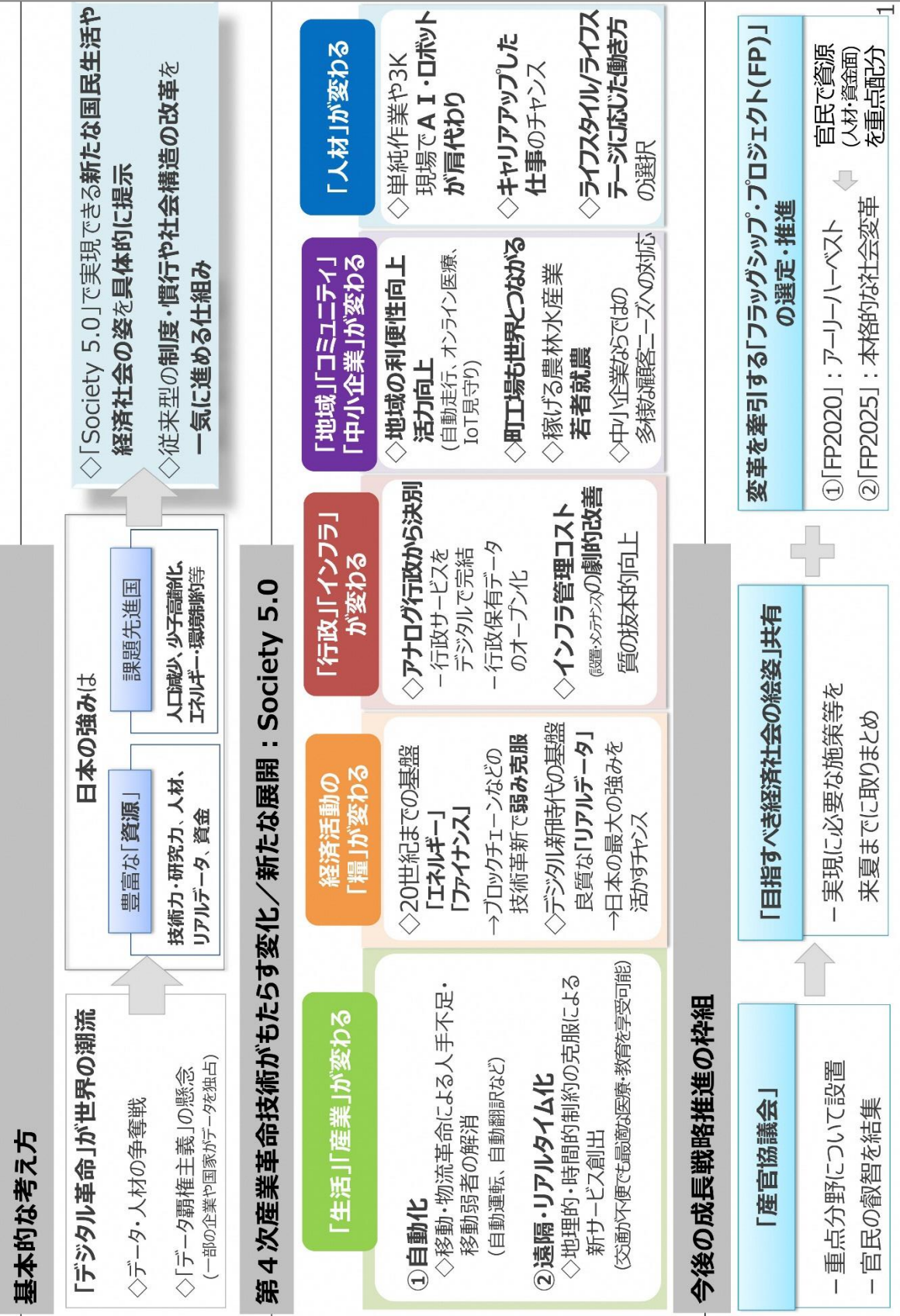
東京都 次世代イノベーション創出プロジェクト2020」

<http://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyo/innovation.html>

業界動向 <https://gyokai-search.com/2nd-growth.htm>

未来投資戦略2018概要

－ 「Society 5.0」「データ駆動型社会」への変革 －



次世代イノベーション創出プロジェクト 平成 29 年度イノベーションマップ

2 分野別の個別課題について

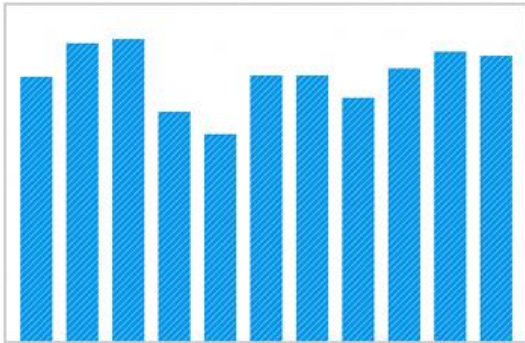
2020 年に向けた実行プラン」に掲げられている課題を中心として、関係各局の意見を参考にし、中小企業の技術・製品開発動向を踏まえて抽出した分野別の個別課題は以下のとおりである。

背景	課題	開発支援テーマ	代表的な技術・製品開発の例示※
スポーツ <ul style="list-style-type: none"> ・都は、2020 年の市民のスポーツ実施率 70% を目標として掲げている。 ・東京 2020 大会の開催環境整備が求められる。 ・障害者等がスポーツ活動をする場や、障害者スポーツを支える人材が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯別アプローチを通じたスポーツの裾野拡大による開催促進 ・日常の中で気軽にスポーツができる環境の整備 ・障害者スポーツの裾野拡大と理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ都市東京の実現に向けたスポーツ・健康増進に関する技術・製品の開発 ②障害者スポーツに関する技術・製品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツに関する技術・製品、健康管理システム等 障害者スポーツに関する技術・製品、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する技術・製品等
医療・福祉 <ul style="list-style-type: none"> ・2030 年には市民の 4 人に 1 人が高齢者となる見込みである。高齢者が地域で安心して生活できる環境の整備 ・高齢者が住み慣れた地域で日常生活を継続できる。高齢者がデジタル生活の利便性を実感できるように、質の高い医療を受けられ、生産を通して健康に寄らせる社会の実現が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、高齢者、障害者等が地域で安心して生活できる環境の整備 ・ロボット介護機器・福祉用具の効果的な導入方法の検証・普及 ・急性期・回復期・慢性期など患者の状態に応じた、より質の高い医療の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども・高齢者・障害者等の安全に資する技術・製品の開発 ②介護・福祉機器に関する技術・製品の開発 ③各種医療機器とその部品・部材に関する技術・製品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急通報システム、各種センシング技術、ネットワークカメラ等 義肢・装具、パーソナル調理用具、コミュニケーション機器、移乗・移動支援機器等 画像診断システム、生体現象計測・監視システム、医用液体検査装置、如適応機器と生体機能補助・代行機器、各種医療器具等 ※家庭法に規定する医薬品、医薬部外品及びそれに類するものは原則対象外
環境・エネルギー <ul style="list-style-type: none"> ・2014 年度の都市内温室効果ガス排出量は、東京都大震災以降、CO₂ 排出量の多い火力発電が中心となっていたことで、2000 年度比 8.4%増加している。 ・古紙や飲料容器等のリサイクルが進んでいる一方、その他の事業系廃棄物のリサイクルは十分に進んでいない。 ・気候変動による水循環の変化に伴い、水質汚濁等水循環に関わる様々な課題が発生している。 ・都市内環境中の PM2.5 は濃度の低下が見られる一方、霧霾基準は未達成の状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水素社会の実現に向けた CO₂フリー水素の活用を含む水素の利活用推進 ・都市における省エネルギー化の更なる推進及び再生可能エネルギーの導入促進 ・持続的発展可能な都市の構築に向け、資源ロスの削減と廃棄物の循環利用の更なる促進 ・健全な水循環、水辺の水質回復に向けた取組 ・VOC など大気汚染物質削減による大気環境の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ①スマートエネルギーに関する技術・製品の開発 ②資源のリサイクルに関する技術・製品の開発 ③環境改善に関する技術・製品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー再生可能エネルギーシステム、コージェネレーションシステム、蓄電池等 船舶資源リサイクル技術、廃棄物系バイオマス技術、建設廃棄物リユース・リサイクル技術等 VOC 検出・処理に関する技術、代替フロンに関する技術、水質改善技術、光触媒を用いた環境改善製品等
危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・近年、時間 50 ミリを超える局地的な集中豪雨が頻発している。 ・東京 2020 大会時には、大地震の懸念がない外国を招き入れる観光客が訪れ、発火時の大規模な混乱が想定される。 ・戦略的な維持管理と計画的な更新により都市インフラをより安心・安全な都市として次世代に継承していく必要がある。 ・パリにおける同時多発テロの発生等、今までの以上にテロの脅威が現実のものとなっている。 ・急速に拡大しているサイバー空間の脅威に対応していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏下地盤や異常気象をはじめとする様々な災害リスクに対する耐震化、不燃化、無煙化等、各取組の推進 ・災害情報のリアルタイムでの共有・情報収集・伝達体制強化 ・外国人への多言語による情報発信 ・都市インフラの維持管理の効率化・高度化・低コスト化の実現 ・劣化が進行する前記計画的に補修補強等を行う予防保全型管理の推進 ・治安に対する不安のない世界一安全な都市の実現 ・サイバー攻撃やテロ等への対策強化 	<ul style="list-style-type: none"> ①防災・減災に関する技術・製品の開発 ②災害時の情報提供・収集に関する技術・製品の開発 ③インフラメンテナンスに関する技術・製品の開発 ④生活の安全・安心に関する技術・製品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 構造物の高層化技術、火災・防炎対策技術、無煙柱化に関する技術・製品、その他技術（避難生活に関する技術・製品）等 安全確認システム、災害情報収集・自動処理・配信システム等 非破壊検査技術、モニタリング技術、自己修復材料等の新材料、その他補修技術等 防犯カメラ、画像解析システム、侵入検知・出入管理システム、情報セキュリティ、流通支援システム、自動走行に関する技術・製品等

業界動向 今後、成長が期待される業界

新たなテクノロジーの普及や成長するアジアへの投資、訪日外国人の増加など、今後、成長が期待される業界

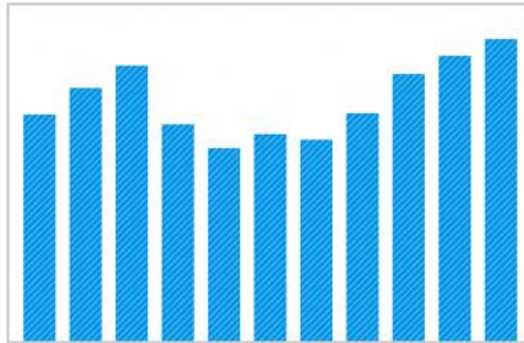
■半導体業界



半導体業界

- 2020 年には IoT デバイスが 500 億個との試算も
- IoT を実現するには何らかの半導体が必要
- IoT 市場の成長を見越し、買収が活発化

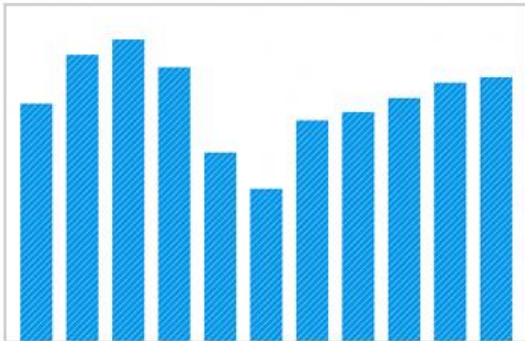
■自動車業界



自動車業界

- インドネシア、フィリピンが自動車拡大期へ
- 2021 年以降、インドの需要が急成長か
- インドではスズキが 37%の高シェア

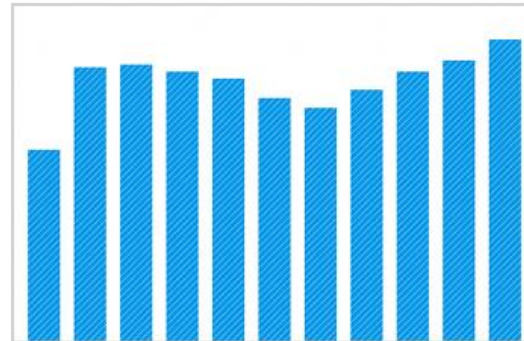
■航空業界



航空業界

- 訪日外国人客数の増加が追い風に
- LCC も順調に成長
- 原油価格の高騰局面では収益悪化の可能性も

■ホテル業界



ホテル業界

- 訪日外国人数増加に伴い、都内はほぼ満室
- 東京五輪の 2020 年までは増加基調か
- 都内中心に続々とホテル建設が進む

■ 今後発展が予測される産業の取組み事例

産業	概要
1 健康産業	ヘルスケア・ニューフロンティア「未病産業の創出」（神奈川県） 「最先端医療・最新技術の追求」と「未病の改善」という2つのアプローチを融合させた取組みを推進。
2 健康・福祉産業	● 食と健康のノウハウの詰まった「知のデータベース」を構築し食品会社に提供（大阪）
3 観光産業 娯楽産業	ナイトタイムエコノミーの拡大 ナイトカルチャー発掘・創出事業（大阪府） 「大阪都市魅力創造戦略 2020」に掲げる「安全で安心して楽しめる 24 時間おもてなし都市」の実現に向け、観光客が昼夜を問わずまちに魅力を感じ、安全で安心して旅行を楽しめる都市の実現にむけ取組みを推進。
4 観光産業	80 のプログラムによるものづくり体験など着地型観光の展開（福岡県久留米市：久留米まち旅博覧会） 当初久留米市が主導する形で、2008 年から始まった着地型観光。地元企業や団体、グループが提供する観光プログラムをまとめて開催し、市内外の多くの人に久留米の楽しさを体験してもらう取組み。

※ ●は単独民間事業者による取組み事例